

千の子



HPも
チェック!



吹田市立千里第二小学校 学校だより
令和6年(2024年)1月9日 発行

学校教育目標 豊かな心を持ち、たくましく生きる力を身につけ、
主体的に行動する子どもの育成 **—自主協同—**

「初夢」

校長 佐野賢治

新しい1年がまた巡ってきました。

お正月に能登半島を中心とする大きな地震がありました。現在も懸命の復旧に尽力なさっている方々に感謝申し上げますとともに、一刻も早い復興を祈念いたします。私は学生時代に、年末に輪島を訪れることが何度かあったのですが、テレビに映る今の様子に心が軋む思いです。子どもたちの中にも、日々流れる映像から心がしんどくなることもあるかもしれません。話を聞いてもらうことで気持ちが安らぐのであれば、学校の先生は聞きますので、話してほしいと思います。

さて、「一富士二鷹三茄子」という諺があります。初夢を見ると縁起がよいとされているものです。「夢」と似た言葉に、「希望」とか「憧れ」というものがあります。このうち、「夢」や「憧れ」は、自分からの距離が遠く、いっぽう「希望」という言葉には、もう少し身近なところで努力をすれば実現できそうなイメージがあります。

昨年3月、野球のWBC決勝戦前に大谷選手がロッカールームでの声出して「(今日一日だけは)憧れるのをやめましょう。」と語ったのが話題になりました。対戦相手のアメリカチームはスター選手揃い。大谷選手が、誰よりもその凄みをわかっているはずですが。憧ればかりでは、相手の名前に負けてしまいます。ひょっとすると大谷選手は自分自身を鼓舞するためにも、この言葉を試合前に言っておきたかったのではなかったかと思えます。

「夢」や「憧れ」だけでは、自分で掴み取ろうとする気持ちが薄れたり、ときには、負けたときの言い訳を考えてしまったりするかもしれません。より具体的な「希望」を設定し、できる努力を重ねる先に「夢」や「憧れ」の実現があるのでしょうか。

かつての日本男子マラソンのエースで、メキシコオリンピック銀メダルの君原健二さんは、マラソンを途中棄権したことがないことで有名でした。君原さんは走っていてしんどくなると、「あの街角まで、あの電柱まで、100メートルだけ走ろう」と自分に言い聞かせて走っていたそうです。「あの電柱まで」という身近な目標のクリアを重ねていくことによって最終ゴールまでたどり着いていたのです。

子どもたちは、今年頑張る目標を決めたことと思います。たとえ大きな目標であっても、やることは日々の積み重ねです。粘り強く取り組んでほしいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

*毎週土曜日の午前中は運動場を開放しています。遊びに来てください。



行事予定



1	月	元日 学校休業日	1	木	教育相談 3年出前授業(ちさと会) 2花研究授業振替で5時間授業
2	火	学校休業日	2	金	3年出前授業(カルビー)
3	水	学校休業日	3	土	環境学習発表会(4年展示発表) 土チャレ
4	木	(電話受付8:30~17:00)	4	日	
5	金	(電話受付8:30~17:00)	5	月	
6	土		6	火	2年国際理解教育出前授業
7	日		7	水	読み聞かせ1・3年 クラブ
8	月	成人の日	8	木	読み聞かせ2・5年
9	火	始業式11:20頃下校	9	金	3年星組研究授業(15:05頃下校) 他クラスは短縮5時間(14:05頃下校) 読み聞かせ4・6年 3年ガンバ出前授業
10	水	給食開始	10	土	
11	木	朝かけ足2・4年 5年雪松校外学習	11	日	建国記念の日
12	金	朝かけ足1・6年 二測定6年 5年星月花校外学習	12	月	振替休日
13	土		13	火	全校集会 新入生入学説明会(資料配付) 2年国際理解教育出前授業
14	日		14	水	4時間授業 太陽の広場2.4.6年
15	月	朝かけ足3・5年 二測定5年	15	木	
16	火	全校集会 避難訓練	16	金	
17	水	朝かけ足2・4年 二測定4年 4時間授業	17	土	土チャレ
18	木	二測定2年 教育相談 避難訓練予備	18	日	
19	金	朝かけ足1・6年 二測定1年 3年校外学習(給食あり)	19	月	水曜時程・時間割
20	土	土チャレ	20	火	
21	日	吹田市一斉合同防災訓練	21	水	委員会
22	月	水曜時程・時間割 委員会 朝かけ足3・5年 二測定3年	22	木	参観懇談5・6年 2年ガンバ出前授業 教育相談
23	火	6年一中制服採寸@体育館15:45~	23	金	天皇誕生日
24	水	朝かけ足2・4年 4時間授業 太陽の広場1.3.5年	24	土	
25	木	朝かけ足1・6年 6年一中ガイド	25	日	
26	金	朝かけ足3・5年 吹田市教育美術展(~29日)	26	月	参観懇談3・4年
27	土		27	火	参観懇談1・2年 6年ガンバ出前授業
28	日		28	水	クラブ(最終)
29	月	(かけ足予備)	29	木	5年松組研究授業(15:05頃下校) 他クラスは短縮5時間(14:05頃下校)
30	火	2年花組研究授業(14:35頃下校) 他クラスは4時間授業(13:10頃下校)	2月の参観懇談についてのご案内は、近日中に別途配信予定です。		
31	水	クラブ			

朝のかけ足について

1月は、朝の時間に2学年ずつ運動場で「朝のかけ足」をします。（各学年3回）8：30に着替えて運動場集合ですので、ご協力よろしくお願ひします。服装は体育授業に準じます。また、かけ足の時は指の分かれた手袋を着用してもかまいません。必要な人は、記名して持たせてください。

6年生対象「一中ガイド」

千二小・千三小の児童が一中に集まって、一中の先生による授業体験と中学生の案内によるクラブ見学を行う小中一貫の取り組みです。この日は給食後に一中に伺い、体験を終えて一中を出発するのが15：30の予定です。そのため、下校時刻がいつもより遅くなりますのでよろしくお願ひします。

シリーズ「いじめ予防プログラムより」③

もしも我が子がいじめの加害者になったら

もしもあなたのお子さんが「いじめの加害者」と言われたら、とても悲しい気持ちになるでしょう。保護者としては、我が子を守りたいと強く思うのは、当然のことです。しかし、お子さんの将来を考えたとき、保護者自身が感情的にならず、下記のような行動を取ると良いでしょう。

① 問題を深刻に受け止める

我が子がいじめをしていると聞いたとき、つい「いじめは誰もがやることだから、大きな問題ではない」と考えたり「単なる悪ふざけを、大きな問題にしすぎる」と学校や他の大人の対応を非難したりしたくなります。しかし、事実を把握する前に、そのように考えてはいけません。「いじめ」は大人が考える以上に、子どもにとって深刻です。被害を受けた子どもの傷つきは将来にわたって続きますが、それ以上に加害をした子どもも深刻な影響を受けます。例えば、今回のことを単なる遊びで片づけてしまうならば、同じような行動を今後も取り続けてしまいます。そして、子どもが大きくなればなるほど、状況は深刻になります。

② 話を注意深く聞いて、事実を確認する

あなたのお子さんの話していることの全てを単純に信じてはいけません。（信じたい気持ちはわかりますが）いじめをした子どもは、大人を操作することが上手で、自分たちが無邪気に見えるような、巧みなストーリーを作り出すことができると言われています。あなたのお子さんの将来のためにも、じっくりと話を聞いて（場合によっては、他の子どもやその場にいた人の話も聞いて）、真実が何かを見極めてください。

③ お子さんやあなた自身を非難する気持ちを抑え込む

こうした状況になったからといって、お子さんを叱りつけても、保護者として御自分を非難しても意味がありません。ここでは、将来のために、お子さんがとった行動についての責任を冷静に考えます。

④ お子さんに対して、一貫した態度をとる

あなた御自身が、いじめの行動（誰かを傷つけること、意地悪をしたり不親切な行動を取ったりすること）を容認しないという一貫した態度を取ってください。あなたがお子さんの行動をしっかりと確認しないままかばってしまうと、お子さんに対して、「間違った行動をしてもOK」というメッセージを与えることとなります。

吹田市教職員研修「いじめ予防プログラムTRIPLE-CHANGE」資料 より

「公益社団法人 子どもの発達科学研究所」作成

⑤ お子さんの行動の理由を知る

あなたのお子さんが行った「いじめ行動」には何らかの理由があります。状況を把握できていなかったりスキルの問題だったりします。学校の環境の影響、ストレスの問題など、様々な理由があります。しかし、保護者であるあなたが、お子さんの行動の理由を一人で見つけ出すことは非常に難しいので、ここは学校の教員、スクールカウンセラーなどに依頼していくことが大切です。

⑥ お子さんに問題解決のスキルや共感することを教える

お子さんに対して、今回と同じような状況になったときに使える別の問題解決の方法を教えます。自分の感情をコントロールしたり、周りの状況を捉えたりすることも含まれますが、主には「話し合い」の方法となります。

また、自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちを考える習慣をつけるために、日常生活の中のいろいろな場面で（例えば、一緒にテレビを見たりゲームをしたりするとき）、いろいろな人の気持ちについて話し合うようにします。（例：「君は、このとき、どういう気持ちだった？ じゃあ、相手の〇〇さんは、どう考えていたと思う？」）

⑦ お子さんとのより良い関係を作る

お子さんは、いじめをしてしまったということで、傷ついていることが多いです。場合によっては、自己肯定感（自分を大切に思う気持ち）が低くなってしまっていることがあります。

こういうときだからこそ、保護者であるあなたは、お子さんと一緒にいる時間を多くして、楽しい時間を過ごしたり励ましたりしてください。特に、相手を思いやる行動、相手の気持ちに共感する様子については、すぐにほめて、より良い行動を取る自信を身に付けさせてください。

国立教育政策研究所の調査によると、いじめは、どの学校の、どの教室の、どの子どものところにも起こり得ると報告されています。よって、あなたのお子さんが「いじめの加害者」になったからといって、「悪い子ども」のレッテルを張られるわけではありません。大切なのは、今回の経験からより多くのことを学ぶことです。

*吹田市のホームページからも見ることができます。

*吹田市立小中学校では、「いじめ予防プログラム TRIPLE-CHANGE」に基づき、いじめ予防授業等に取り組んでいます。